

郡上農林事務所の普及活動状況 令和7年9月30日現在

郡上の農業・農村を支える人材育成

■青年農業士 大型マルシェ「ミチトキテン」にて活動PR

郡上地区青年農業士連絡協議会（会員6名）は、青年農業士の活動を幅広く知ってもらうと共に郡上市産の農産物をPRするため、9月23日に郡上市合併記念公園で開催された「ミチトキテン」に参加し、トマト・花き鉢物等を消費者に直接販売した。

「ミチトキテン」は、昨年まで開催されていた「食の祭典 in ぎふ郡上」を引き継ぐ形で今年から始まった大型マルシェで、郡上市内で地域おこしに取り組む若い世代が中心となって企画された。

当日は天候にも恵まれ多くの来場者があり、ブースに訪れたお客さんに販売している花き鉢物の特徴、管理方法、トマトの美味しい見分け方等について説明した。

農業普及課では、今後も関係機関と連携して青年農業士や若手農業者の活動を支援していく。



【ミチトキテン出店の様子】

安心で身近な「郡上の食」づくり

■トルコキキョウ 化学農薬を使用しない「土壌還元消毒」の現地試験を実施

高鷲町のトルコキキョウ生産者のほ場で、9月11日に土壌病害対策試験として「土壌還元消毒」の試験を開始した。

本試験は、農業技術センター病理昆虫部、農業経営課革新支援専門員の協力のもと一昨年度から実施しており、今年度の試験結果を踏まえ、処理方法を改良し、3年目の土壌還元処理を開始した。

農業普及課では、産地で課題となっているトルコキキョウの立枯病などのフザリウム菌による土壌病害の解決に取り組み、高品質安定生産を支援する。



【土壌還元消毒処理の様子】

郡上農畜水産物のブランド展開

■夏だいこん 高温化に対応した品種比較試験を実施

高鷲町の夏だいこんは、4月中旬から7月末にかけ播種期と品種を変えつつ、計画的に生産出荷されている。しかし、近年は異常高温や長雨など、不安定かつ極端な気象となっており、十分な収量および品質が得られない事例も散見されている。

そこで、農業普及課では、ひるがの高原だいこん生産出荷組成年部の協力のもと、播種期ごとに品種比較をおこない、気象の影響を受けにくく、当地域において安定的に生産可能な品種の選定を試みている。

今年度も、夏の猛暑による高温障害、長期的な干ばつによる乾燥が多く見受けられた。農業普及課は、引き続き有望品種の選定を行い、高温化でも安定した収量を得られるよう支援していく。



【収穫調査の様子】